議 題 1

報道機関　各位

記者発表資料
平成２８年８月２３日（火）
問い合わせ先：文化振興課
担当：今村、増子、小久保
電話：829-1225
内線：2816

開幕まであと 32 日！

国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ２０１６」を開催します

さいたま市では、9 月 24 日（土）から 12 月 11 日（日）までの 79 日間、生き生きと心豊かに暮らせる文化芸術都市の創造に向けた象徴的・中核的な事業として、国際芸術祭「さいたまトリエンナーレ２０１６」を開催します。

開催テーマ「未来の発見！」のもと、国内外で先進的な活動を行っているアーティストがさいたま市を訪問・滞在し、市民と交流しながら、市内各地でさまざまなアートプロジェクトを展開します。

１　開催概要

テーマ ＝ 未来の発見！

会期 ＝ 平成28年9月24日（土）～12月11日（日）［79日間］
※定休日：水曜（ただし11/23（水・祝）は開場、翌11/24（木）は閉場）

主な開催エリア ＝
与野本町駅～大宮駅周辺、武蔵浦和駅～中浦和駅周辺、岩槻駅周辺
※会期中は、主要エリアのほか、市内各地で各種アートイベントを実施

主催 ＝ さいたまトリエンナーレ実行委員会

ディレクター ＝ 芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）

事業構成 ＝ アートプロジェクト（実行委員会主催事業）
市民プロジェクト、連携プロジェクト、その他関連事業（関連事業）

公式ウェブサイト ＝ http://saitamatriennale.jp

公式イメージキャラクター ＝ さいたマムアン

さいたまトリエンナーレ２０１６に参加するアーティストのひとり、タイ出身のウィスット・ポンニミット氏（愛称「タム」）が描くキャラクター「マムアン」が、トリエンナーレ公式イメージキャラクター「さいたマムアン」として誕生

©ウィスット・ポンニミット

２　見どころ

▽「生活都市」が舞台！

全国の里山や大都市で多くの芸術祭が開催される今、さいたまトリエンナーレ２０１６は、「生活都市」をアートの舞台とすることが特徴です。

アートを特別なものではなく、街に関わるすべての人に開かれたものにするために、人が暮らし、他者と交流し、創造する現場においてアーティストと共に未来を発見していきます。

▽ 新作がみられる！

さいたまトリエンナーレ２０１６に参加する全34組のアーティストの作品群は、それぞれさいたまの自然や歴史に触発されたオリジナルの新作になります。

さいたまならではの場所性にこだわった作品を始め、市民との協働による作品も多く展開します。市民参加によって制作された国際的に活躍するアーティストたちの新作にご注目ください。

▽ 鑑賞無料！

すべての会場は無料で作品鑑賞できます （一部の舞台公演やパフォーマンス、映画上映を除く） 。

日常の延長としてお友達や家族と、またはグループで誘い合って、アートをお散歩感覚で楽しめます。好きな場所や作品が見つかったら、会期中は心ゆくまで何度でも鑑賞してください。

３　芹沢高志さいたまトリエンナーレ２０１６ディレクターからのメッセージ

127万もの人々が生活するさいたま市に、世界に開かれた創造と交流の現場をつくりだそうとする国際芸術祭。テーマは「未来の発見！」。アートを鑑賞するだけでなく、共につくる、参加する芸術祭です。土地の歴史やまちの構造を想起させる、市内のさまざまな場所が会場となります。国内外のアーティストたちの多様で多彩な想像力に触発されて、私たちはさまざまな未来を夢見ていく。日本を代表する生活都市から生まれる、想像力の祭典をお楽しみください。

さいたまトリエンナーレ２０１６
ディレクター　芹沢　高志

SAITAMA TRIENNALE 2016
さいたま トリエンナーレ 2016